

第21期 事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

はじめに、日本だけではなく世界をも席卷する新型コロナウイルスの影響を受け、これまで私たちの培ってきた支援の在り方の土台さえも崩しかねない、大きな出来事であり、これまでと同じではいけないという強い危機感を持たされた。今年2月に20周年という節目を迎え、あらためて本当に自分たちに求められている支援や活動は何かをウィズコロナとなる NEW NORMAL の時代の中で、常に向き合い求めつつ、これからさらに広がる経済格差など、こども・若者たちを取り巻く環境の変化にも対応できる組織形成と活動に取り組んでいきたい。

1 事業の成果

前年度に引き続き今年度も、「**おもしろい子（個）を育てる**」をテーマに、子育て期～学齢期～思春期～青年期までの**途切れのない支援**を目指してひとつひとつの事業に取り組んできた。

特に不登校支援について横浜市教育員会や学校との連携を強化し、専任会での活動紹介、根岸中学校での地区懇談会での講演依頼によって、活動状況の発信を行った。子育て支援拠点からの講演依頼では、子育て支援中の親御さんに子どもの成長の過程で親御さん自身が相談することの大切さを知ってもらい、子どもたちにも相談できる人や場所があること、ひとりで抱えないことを伝えていってもらいたいと伝える。

生きづらさを抱える本人もその家族も、そして支援者にも**ひとりにさせない抱え込まない**ことを伝え、「**相談できる人がいるか、役割があるか、大切にされていると感じられるか**」この3つのことを常に指標として考え、そのような環境を整えていくことが、孤立や、ひきこもりを長期化させない社会につながっていくことを共有した。

横浜子ども支援協議会の運営に携わり、横浜市教育委員会の家庭訪問事業や専任教諭の研修会でのグループワークなど新しい取り組みをおこなった。

2 事業内容

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 社会参加基礎訓練等の場を提供するための寮施設兼生活指導施設の運営

① 児童自立生活援助事業 自立援助ホーム

- ・オラシオ寮（女子）の運営。
- ・横浜市と協議の結果、自立援助ホームとしての事業は6月末までで終了し、7月～オラシオ寮はK2グループの自主事業として再スタートすることとなった。
- ・自立援助ホームの運営についてこれまでお世話になった関係各所には、今後もK2グループとして共同生活寮の運営を継続していくことをお伝えし、今後も引き続き関係性を築いていきたいと考えている。

日時	2019年4月～6月
場所	オラシオ寮（中区根岸町）
主な従事者人員	3名
対象者	義務教育終了後～20歳までの女子で、児童相談所が必要だと認められた者
定員	6名

(2) 青少年とその保護者などに対する相談・支援

①不登校支援

- ・日常的な電話相談やメール相談の対応を行った。
- ・毎年恒例の県教委主催の不登校相談会、横浜市教委主催の保護者のつどい、思春期セミナー（つづきMYプラザ）、**6月・9月・12月には無料集中相談会を開催**し、不登校で悩む保護者や本人から多くの相談を受けることができた。
- ・横浜市教育委員会や専任会などを通じて、法人の活動を発信する機会も増え、不登校についての意見交換や専任教諭との必要な情報交換をおこなった。
- ・横浜市教育委員会の家庭訪問事業の主任相談員として、家に引きこもっている中学生に対して訪問し、保護者のサポートもおこなった。
- ・寄せられた相談について、学齢期のうちに必要な支援につながるような流れを作っていくように意識して法人内や外部のプログラムへの丁寧なつなぎや対応を行った。

日時 月～金 9:00～18:00（電話相談・メール相談・個別面談） 他
場所 横浜市磯子区東町9-9 3階
主な従事者人員 2名
対象者 青少年および保護者、関係者

②よこはま南部ユースプラザ

- ・相談窓口（電話、インターネット、来所）を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・よこはま南部ユースプラザとしても活動の年間テーマを今年度は、「不登校支援」とし、南部教育事務所や各地域担当のSSWとの連携の強化をおこなった。なんぷら主催の連絡会や各区で年に1回行うセミナーにおいても同テーマで不登校経験のある当事者の話を聞く機会などを作り、各区の職員やSSW、地域の支援者の参加も多くあり、南部地域の若者支援にかかわる支援者との意見交換も行った。
- ・南部地域の区役所専門相談で区のこども家庭支援課、生活支援課との連携も持てるようになり、支援者からの若者支援の相談を受ける機会が増えた。磯子区役所では、なんぷらの若者たちに社会体験の機会を与えてもらい、会議場の設営や資料の準備などの依頼がコンスタントにあった。根岸地区センターの図書ボランティアも始まり、地域の社会体験の場所が増えた。
- ・南部地域の各支援団体、法人から若者支援の現状やコロンブスの活動や南部ユースプラザの取り組みについて知りたいと講演依頼も増えた1年だった。
- ・2020年に入って、新型コロナウイルス感染防止対策のため、3月からは、ほぼ予定していた会議や講座、イベントなどが中止となった。2月中旬からは、法人内での会議はもちろん、行政担当者、外部関係者、支援者、保護者との連携を取りつつ、各事業所の利用メンバー、スタッフの健康を最大限に考慮し、感染防止対策と方針のための協議を重ねた。刻々と変わる情報をしっかりと抑えつつ、変化に対応することに努めた。セミナーの中止、居場所の閉所などが素早く行われたが、それによりやっ和外に出て来られるようになった若者にとっては、出鼻をくじかれてしまう形になってしまったことは大変残念であった。来所面談を週に1回入れるなど工夫をしつつ、不安を強く持ち過ぎないために離れてつながるサポートを強化した。

講座：ボイストレーニング・PCセミナー・スポーツデー・コミュニケーション講座
講座ゴスペル講座・なんぷらアフタヌーンティー・ファーム体験デー・ちがいを楽しむかんたんアート・ゲーム大会・クレイフラワー講座・色育講座
シアターワークショップ・横浜美術館プログラム・職業人セミナー・

wii 大会・インターネット被害未然防止講座・特別講座「働く」とは？・健康管理について・口腔衛生講座・金銭管理講座・食品衛生講座（磯子区役所生活衛生課）臨床心理士によるグループワーク・合気道講座・折り紙講座・レザークラフト講座

クラブ活動：無電源系ゲーム・羊毛フェルト・マッスルパワー・大人のぬりえクラブ・簡単クッキング・UVレジン・朝のスタートプログラム等

- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラム、就労支援セミナーの実施。
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくり

年間テーマ「地域連携」

*南部地域若者支援連絡会（年3回）：令和元年6月6日（木） 34団体50名
9月26日（木） 20団体24名

令和2年2月19日（水）29団体39名

*研修会（年2回）：令和元年7月31日（水）26団体45名

11月20日（水）20団体32名

*4 ユースプラザ合同連絡調整会議：隔月に1回参加（偶数月の第3月曜日）

*三機関連絡会：年に2回参加

*なんぷら保護者交流会：毎月第4土曜日開催 年間参加者延べ94名

- ・区役所における引きこもり等の専門相談、セミナー&相談会

*専門相談 港南区25件、磯子区9件、金沢区32件、戸塚区36件、栄区9件

*区役所セミナー&相談会：

11月28日（木） 港南区 来場者34名

11月18日（月） 磯子区 来場者23名

10月30日（水） 金沢区 来場者26名

10月17日（木） 戸塚区 来場者14名

12月4日（水） 栄区 来場者23名

開所時間 月曜日～金曜日 11:00～19:00（居場所・相談室）

土曜日 11:00～19:00（相談室のみ）

場 所 横浜市磯子区磯子3-4-23 浜田ビル2階

主な従事者人員 9名

対象者 横浜市内にお住まいのおおむね15歳～40歳未満の若者およびその家族

開所日数 280日

来所者数 のべ7,016名

相談実績 面接相談 のべ760件・電話相談 のべ610件・

インターネット相談 のべ251件

社会/就労体験事業参加者 のべ3,141名

③金沢区寄り添い型生活・学習支援事業（横浜いろは塾）

- ・金沢区内の生活困窮や保護者が精神疾患を有している等の理由により、養育環境に課題がある家庭に育つ小学生・中学生・高校生に対して、学習支援・生活支援・総合的な支援を実施。
- ・対象は生活保護を受けている家庭の子どもに加え、今年度より児童扶養手当満額支給世帯などへ拡大募集を行い、学習支援のみ利用する生徒が大幅に増えた。そのため、金沢区生活支援課・子ども家庭支援課と連携しながら、見学対応や生徒の受け入れのための情報共有を行い、必要であればケースカンファも実施しながら一人一人に丁寧な支援を行った。
- ・昨年度、月2回から始まった富岡東地域ケアプラザでの「出張いろは塾」の開催を、6月からは毎週火曜日の開催へと増やし、学習支援を行った。
- ・12月には、富岡東地域ケアプラザでの異世代交流イベント「野菜たっぷりカレーを

食べよう！」に初めて参加した。

- ・中学3年生には「神奈川県全県模試」が受けられる**模試サポート**を8月と12月の2回開催した。各会場で模試を受験後、結果を確認しながら個別進路面談等も行った。
- ・登録している中学3年生は全員高校進学が決まった。
- ・中学時代に不登校でサポートしていた生徒が高校へ進学。新たな環境で学校へ通えるようにはなったが、不安定になりやすく、定期的なメンタル・学習サポートを行い、1年間通してほとんど遅刻欠席なく通うことができ、2年生に進級できた。他にも、高校へ進学はできたが、友人関係や学習面で悩んだり、つまづく生徒も多く、高校受験に合格した後も、個々のニーズに合わせ、途切れなくサポートをおこなっている。
- ・2月末から、コロナウイルス感染症拡大防止でいろは塾の閉所が続いた為、定期的に保護者へ連絡し、状況確認等を行った。臨時休校中の過ごし方や学習の遅れを心配する声、また、休校前から不安があったこと等も含め、様々な相談が入るようになり、区役所と連携しながら保護者へ寄り添いつつ、場合によっては臨時で受け入れをする等のサポートを行った。

・金沢区寄り添い型事業定例会議（全5回）

2019年4月23日（火）、7月4日（木）、9月5日（木）、11月7日（木）、2020年1月16日（木）

場所 横浜市金沢区洲崎町2-6 5階

日時 水・金 13:00～20:00

火・木 13:00～18:00

土曜日 11:00～18:00

（出張いろは塾 富岡東地域ケアプラザ 火曜日 18:00～20:00）

主な従事者人員 5名

対象者 養育環境に課題があり、支援を必要とする

小学生・中学生・高校生およびその保護者

開所日数 226日（2月28日まで）

登録者数 67名

参加人数 のべ1602名（2月28日まで）

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月29日（土）～閉所が続いた。

3月後半は、特別な事情のある家庭の子どもを臨時で受け入れをおこなった。

（3）青少年の自立に関する情報提供

①団体の活動の情報発信

- ・ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。
- ・団体の活動内容を広く知ってもらうため、年2回 **KIAORA** を発行する。**KIAORA** はホームページでも閲覧できるようにした。また、地域の各活動場所や連携先にも配布、設置を依頼し、活動に興味を持った方に手に取ってもらえるようにした。

日時 ホームページの更新は随時

KIAORAの発行 2019年9月・2020年3月

場所 コロンブスアカデミー事務局

主な従事者人員 2名

対象者 不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、地域の関係機関・関係団体など

（4）地域で子育てを支える場の提供・運営

①親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。

- ・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場として運営をおこなった。
- ・親のリフレッシュや用事、きょうだい児の行事、仕事の際に利用できる一時預かりを引き続き実施。今年度は、仕事復帰に向けての勉強のためや区役所での手続き、離婚調停などの用事のために預ける方もいて、とても助かると言われていた。子どもを預かるだけでなく、子どもの成長や家庭内の悩みについて相談できる場にもなっていた。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポーター、ママボランティアとして活躍していた。
- ・活動の様子や今後の予定をホームページ・ブログから情報発信を行った。
- ・**幼稚園・保育園**座談会を年3回行い、情報収集ができる場の提供を行った。磯子区と中区の保育・教育コンシェルジュの方にも来ていただいた。
- ・磯子警察署生活安全課の方に来ていただき、防犯講座を行った。
- ・磯子区内では、子育て支援拠点と各広場との会議を定期的に行われ、情報交換が活発に行われた。協力して第5回目の「子そだてフェスタ」を開催し、周知にも努力した。地域で気になる親子について区の保健師とも情報共有など連携を行った。
- ・同じフロアのぼによ+の小学生が乳幼児の面倒を見たり、その姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができ、ぼによ+との交流が保護者自身の学びや発見の場になっていた。また、くすくすのママサポーターや講師がぼによ+で小学生向けの講座を担当してくれることもあり、活発な交流が行われた。
- ・要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議）に今年度初めて参加（3回）。虐待防止について、地域での連携の大切さ、対応の仕方なども学ぶことができた。
- ・2019年度は、Bブロック会議幹事を担当。研修会では、助産師を講師に招き「マタニティーブルーや産後うつについて」学んだ。ひろばスタッフ同士で活発な意見交換もできた。

主な従事者人数 4名

開所日数 200日（3月2日～31日まで広場は中止・一時預かりのみ対応）

来所者数 1,618組3,552名（一日平均8.1組17.8名）

一時預かり利用数 147件 計361時間（月平均12.3件 30.1時間）

連絡会 いそごひろば連絡会 全4回 2019年5月21日（火）・8月6日（火）

11月12日（火）・2020年2月4日（火）

根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 全3回

2019年5月14日（火）・7月1日（月）・9月3日（火）

Bブロック会議 2019年6月4日（火）・2020年2月10日（月）

広場全体連絡会 2019年7月18日（木）

一時預かり情報交換会 2019年12月13日（金）

要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議） 2019年7月24日（水）・10月23日（水）・2020年1月29日（水）

②プレ教室ぽっかぽか

- ・就園前の2～3歳児のこども対象のプログラムを実施。「こどもだけで活動する経験」や「家庭ではできない体験をすること」を目的に、保護者も子ども達もスムーズに幼稚園や保育園に移行できるように意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。
- ・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、交流の場を作った。
- ・今年度も、保護者座談会を4回実施した。保護者同士のつながりを強め、子育ての不安に寄り添い、トイレトレーニングや友達との関係など、具体的な悩みについて話し合う場にもなっていた。また、普段の活動の様子も動画で伝え、子どもたち同士の関りや成長を見てもらうことができた。
- ・発達の子には、子どものサポートだけでなく保護者のサポートも丁寧に行った。活動

時の様子を毎回伝えたり、母親の不安を聞いたりした。

- ・通ってきた親子からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、スタッフや保護者との関係が深まったこと、親から離れて子ども達同士で楽しむ経験ができたことなど、参加してよかったという感想が多く聞かれた。2019年度もきょうだい児で再び参加するケースがあった。
- ・若者支援の取り組みについても理解を深めてもらおうと、法人の全体行事にも積極的に参加してもらい、子ども達の将来の不安も解決策も具体的に示していけるように意識して関わりをもった。特に、ファームイベントではいろいろな世代・経験を持った方との交流や自然体験ができ、小さな子どもをもつ保護者にも好評だった。小学生の様子を真似て、活動を楽しむ子も多かった。
- ・幼稚園・保育園に就園後も、OB会を行い、近況報告や心配なことを話せる場を作った。
- ・2月中旬からは、スタッフはもちろん、保護者の方にも全員マスク着用をお願いし、できるだけ、密にならないように工夫しつつ、修了式までプログラムを予定通り行うことが出来た。

主な従事者人数	3名
登録人数	10名
実施回数	30回
参加人数（実績）のべ	292名

(5) 地域の子どもの居場所の提供・運営

①金沢区青少年地域活動拠点 カナカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・1階フリースペース部分では駄菓子販売を行い、子ども達が居心地良く過ごせる場を提供した。ものづくり講座・カナカツイベントへの参加の促しも行い体験の場の入り口としても機能した。
- ・フリースペースに来所する子ども達も一緒にイベントの準備をし、当日の運営も行った。青少年交流ステーションかなざわの入居団体が協力、共に地域の子どもの達を見守る体制を整えることが出来た。
- ・社会参加プログラム<夏秋のボランティア体験（中高生のべ30名）秋の美術展（参加者218名）では近隣の中高生が多く参加し、今年度第4回となる美術展においては金沢高等学校・金沢総合高等学校の生徒が企画運営を担当し校外での社会活動の経験を持つことができた。
- ・イベントでは秋まつり（参加者108名）において金沢区読書フェスティバル参加事業として、交際交流ラウンジと協同企画を行うことができた。春まつりは書道展・音楽フェス・異世代交流カフェを企画したが直前のコロナ感染拡大対策の為に当日の開催は中止となった。準備段階において中高7校（作品43点）からの出品・吹奏楽演奏（小・中・大学生16名）他の参加が予定されていた。
- ・近隣の学校や他団体との連携を積極的に図り、小中校長会・民児協での企画案内・南部地域若者支援連絡会への出席も行った。年度を追うごとに学校関係等地域資源からの連携の体制が得られるようになっていく。

日時	火曜日～金曜日	15:00～20:00
	土曜日	13:00～17:00

場所 横浜市金沢区洲崎町2-6

主な従事者人員 3名

対象者 地域の中高生世代

開所日数 222日

(10月12日 台風19号接近・2月29日から3月31日まで新型コロナウイルス)

ウィルスの感染拡大防止のため閉所)

利用人数 8024 名 (青少年6516・大人1508)

入居団体連絡会 隔月開催 全6回

平成31年4月25日 (木) 令和元年6月27日 (木)・8月22日 (木)
10月24日 (木)・12月19日 (木)・令和2年2月27日 (木)

②磯子区青少年地域活動拠点 イソカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・フリースペースでは地域の中高生向けに駄菓子屋販売を行い、居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。また、地域の方をボランティア、講師に招き、フリースペースでものづくり講座などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。
- ・フリースペースを利用している中高生が主体となって立ち上げたイソカツ運営委員会では、毎月開催に向けて準備・運営や、2月に開催したイソカツ美術展の準備を行った。(91名参加)
- ・夏休み期間を活用し、中高生のボランティア体験 (25名参加) 職業体験 (6名参加) を実施した。子育てスポットくすくす、放課後ドラマぼによ+、コッペパン販売などを行った。また、6月と10月に開催されたファームでの芋掘りイベントに参加し、農業体験を行った。(15名参加)
- ・第2回イソカツ美術展を杉田劇場ギャラリーにて開催。(150名来場)
新型コロナウイルス感染拡大防止のために閉所になる間際だったので、来場者は多くなかったが、無事に最終日まで開催することができた。
地域の中高生世代の作品が109点集まった。共同制作では、横浜美術館からの講師のもと、小学生からおとなまでが参加するコラージュの作品や船を作って展示し、観ていただいた方からは大好評だった。
- ・思春期世代の子どもを持つ保護者や地域の支援者を対象にイソカツ思春期セミナー (21名参加) を開催。岩室紳也氏をお招きして、「思春期のこころ性」をテーマにお話していただき、保護者に大好評だった。
- ・近隣の学校に訪問、校長会や専任会、青少年指導員、民児協ではイベントの周知や報告を定期的に行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、磯子区館長連絡会、南部地域若者支援連絡会等にも参加。
- ・よこはま南部ユースプラザ等の若者の就労研修の場としても機能していた。

日時 火曜日・木曜日 15:00~20:00

土曜日 13:00~18:00

場所 横浜市磯子区磯子3丁目4番地23号浜田ビル2階

主な従事者人員 2名

対象者 地域の中高生、地域の人たち

開所日数 140日 (フリースペース開所・活動日)

(10月12日 台風19号接近・3月5日から3月31日まで新型コロナウイルスの感染拡大防止のため閉所)

参加者 青少年計 3,054人 (全体3,535人)

(6) 放課後児童健全育成のための学童保育の運営

①放課後ドラマ ぼにょ+

- ・自主事業として「おもしろい子(個)を育てる」をテーマに、安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなった。
- ・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた
- ・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。
- ・虫キャンプやぼにょ合宿、ニュージーランド大冒険ツアー等の特別な宿泊体験も行い、学校や家庭では体験できないことにも取り組むことができた。
- ・夏休みにはその他、女の子向けのお出かけイベント、ガールズツアーや、コッペパン専門店「パン屋のおやじ」でのパン屋体験などがあり、すぐに予約が埋まるほどの人気で、実際に参加した子達にも大好評だった。
- ・放課後の時間帯に習い事ができるように、ぼにょ塾のピアノ教室・英会話教室、卓球クラブ、ロボット・プログラミング教室をおこなった。高学年にとってはぼにょに登所する目的となっていた。卓球クラブで1泊2日の合宿を行った際に卒業生の子が練習を手伝いに来てくれるなど、OBの子の関わりも増えてきた。
- ・保護者は PPA (ぼにょペアレンツアクションメンバー) として、イベントの参加だけでなく、毎月発行しているぼにょ通信のリレーコラムの文章を書いていただいたり、保育で日常的に使用するセロハンテープなどの消耗品やお菓子、バザーで販売する子ども服の寄付など、様々な協力の形が見られた。
また、今年度から保護者会を年3回から2回に変更し、新たに新入生を対象に夏休みの説明会を土曜日と平日に2回に分けて実施した。土日に働いている保護者の方からは感謝の声が多く聞かれたため、来年も継続していきたい。
- ・毎年恒例の夏祭りやクリスマスフェスタでは、それぞれの個性を活かした発表を行った。
- ・イソカツとの連携は継続し、今年度はイソカツ主催のイベントに参加するだけでなく、美術展への作品の出展等、さらに活動の幅が広がった。
- ・3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、小学校が休校となり、早朝から子ども達の保育をおこなった。ぼにょの活動拠点だけでなく、モンビルM6のスペースを活用し、密集を避けるための工夫を継続しておこなった。感染予防の対策だけでなく、保護者から不安が寄せられていた学習面についても、学習の時間を確保し、PCを使用してのオンライン学習などにも取り組み、内容も充実させるように努めたため、多くの保護者から安堵と感謝の声が寄せられた。
- ・キリングループの労働組合から靴箱と遊具の寄付をいただき、靴箱の中で靴が混乱してしまう悩みが一気に解消され、大事に使わせていただいている。
- ・働く保護者を支えることも目的のため、学校が休校に決まってからの子どもたちの受け入れを素早く決め、安全と安心の感染防止対策を徹底して行った。

日時	終日(必要に応じて対応)
場所	横浜市磯子区東町9-9 2階、他
主な従事者人員	5名
対象者	横浜市内の年中児～小学生
開所日数	292日
登録人数	83名

登所人数	のべ11,995名
ぽによ塾	ピアノ 登録10名・のべ660名(66回実施) 英会話 登録26名・のべ3,536名(136回実施) 卓球 登録15名1,290名(86回実施) ロボット・プログラミング登録12名 884名(68回実施)
登録児童の所属小学校、保育園	
小学校	根岸小 52名・間門小 9名・杉田小 4名・浜小 4名 森東小 4名・国大附属小 2名・滝頭小 2名・岡村小 1名 山王台小 1名
保育園	太陽の子不動下保育園 2名・ペガサスわくわくランド 1名

(7) その他の事業

① 応援会員の募集

- ・法人の支え手を増やすために、PPAサポーター会員・ユースサポーター会員・ジュニアサポーター会員の3つの応援会員を募り、活動の支え手を増やすよう努めた。

実績	PPAサポーター会員	のべ 396 口
	ユースサポーター会員	のべ 30 口
	ジュニアサポーター会員	のべ 15 口

<2019年度 主な行事> ※大きな行事や行政との連携を中心に記載。

- 4月1日(月) K2春のスタートデー
- 4月10日(水) 磯子区館長連絡会 参加
- 4月12日(金) 戸塚高校定時制2年、3年ガイダンス
- 4月16日(火) 磯子区社会福祉協議会ボランティア・市民活動関係分科会 参加
- 4月17日(水) 横浜子ども支援協議会 参加
- 4月23日(火) いろは塾・金沢区定例会議
- 4月27日(金) いそっぴGWスタンプラリー・イソカツ縁日
- 5月15日(水) ちょこっとカフェ(杉田劇場)開催
- 5月16日(木) 金沢区中部民児協研修会 講師
- 5月23日(木) 横浜市教育委員会ワーキンググループ 参加
- 5月25日(土) ぽによ夏休み説明会
- 5月27日(月) ぽによ夏休み説明会予備日
- 6月1日(土) 不登校相談会・じゃが芋掘りイベント(にこまるソーシャルファーム)
- 6月4日(火) 横浜市教育委員会連絡会 参加
- 6月5日(水) 第37回理事会 開催
- 6月6日(木) 南部地域若者支援連絡会 開催
- 6月15日(土) いそご地域活動フォーラム(磯子区役所) 参加
無料集中相談会 開催
- 6月17日(月) 寄り添い型生活支援事業情報交換会
- 6月18日(火) 戸塚区セーフティネット会議 講師
NPO連絡会総会 参加
- 6月21日(金) 第32回総会 開催
- 6月24日(月) つづきMYプラザ思春期セミナー 講師
- 6月29日(土) イソカツ思春期セミナー
キリングroup労働組合 寄付贈呈式(ぽによ+靴箱・遊具)
- 7月3日(水) 横浜子ども支援協議会 開催
- 7月4日(木) 甲南大学講義 講師「横浜市の若者支援の現状と取り組み」
いろは塾・金沢区定例会議
- 7月5日(金) 根岸中学校区小・中合同地区懇談会(根岸中)「困ったときに相談できる場所」
- 7月6日(土) カナカツ思春期セミナー 開催
- 7月9日(火) はっちネット学習会
- 7月17日(水) 横浜市教育委員会 見学対応
- 7月22日(月) 横浜市教育委員会ワーキンググループ 出席
- 7月23日(火) 若者相談支援スキルアップ研修(青少年相談センター) 講師
- 7月26日(金) ~27日(土) ぽによ合宿(野島青少年研修センター)
- 7月31日(水) 南部地域若者支援連絡会研修会 開催
- 8月1日(木) ~3日(土) 虫キャンプ in 石巻
- 8月21日(水) 磯子区館長連絡会 参加
- 8月24日(土) K2夏祭り
- 9月5日(木) いろは塾・金沢区定例会議
- 9月7日(土) ちょこっとカフェ(杉田劇場)開催
- 9月10日(火) 第38回理事会
- 9月11日(水) 横浜子ども支援協議会 出席
- 9月14日(土) フリフリフェスタ 参加
- 9月17日(火) 磯子区社会福祉協議会ボランティア・市民活動関係分科会 参加
- 9月19日(木) はっちネット定例会 参加
横浜市教育委員会 専任教諭との座談会 参加
- 9月21日(土) 市教委主催 保護者のつどい 参加
無料集中相談会 開催

- 9月24日(火) 磯子区NPO連絡会
- 9月24日(火)～28日(土) 第4回カナカツ秋の美術展
- 9月26日(木) 南部地域若者支援連絡会 開催
- 9月28日(土) ぽにょ保護者会 参加
- 9月29日(日) 磯子まつり 出店
- 10月11日(金) 磯子区責任職人権研修 講師
はっちネット講演会 参加(司会)
- 10月15日(月) 栄区小菅ヶ谷地区支援チーム会議 講師
- 10月19日(土) 横浜市若者自立支援講演会 講師
- 10月25日(金) 西区寄り添い型生活支援事業「かもん未来塾」見学
- 10月26日(土) さつまいも掘りイベント
- 10月31日(木) 横浜市教育委員会連絡会 出席
- 11月6日(水) 磯子区区民利用施設協会 講師
市教委訪問事業支援検討会議 出席
- 11月7日(木) いろは塾・金沢区との定例会議
- 11月10日(日) いそごこどもまつり 出店
- 11月11日(月) 磯子区寄り添い型生活支援事業ヒアリング
- 11月13日(水) 磯子区区民利用施設協会 講師
- 11月14日(木) カナカツ秋まつり 開催
- 11月16日(土) 金沢区保護司会・金沢区更生保護女性会合同研修会 講師
- 11月20日(水) 南部地域若者支援連絡会 研修会 開催
- 11月21日(木) はっちネット研修会 参加
- 11月26日(火) 磯子区NPO連絡会(研修) 参加
- 11月30日(土) ぽにょ入会説明会
- 12月7日(土) 無料集中相談会 開催
- 12月11日(水) 磯子区館長連絡会 参加
- 12月22日(日) クリスマスフェスタ
- 1月16日(木) いろは塾・金沢区との定例会議
- 1月18日(土) ちょこっとカフェ(杉田劇場) 開催
- 1月29日(水) 市教委訪問事業支援検討会議 出席
- 2月5日(水) 港南区日野南地域ケアプラザ研修会 講師
- 2月6日(木) いろは塾ケースカンファレンス
- 2月7日(金) 横浜市教育委員会連絡会 出席
- 2月13日(木) 磯子区子育て支援拠点いそピヨ10周年記念講座 講師
- 2月15日(土) ぽにょ+オンライン説明会
- 2月18日(火) 磯子区社会福祉協議会ボランティア・市民活動関係分科会 参加
- 2月19日(水) 横浜子ども支援協議会 出席 ・ 南部地域若者支援連絡会 開催
- 2月27日(木)～3月3日(火) 第2回イソカツ美術展(杉田劇場ギャラリー)
- 3月27日(金) キラキラぽにょパーティー(修了式)

<2019年度 助成実績>

- *児童自立生活援助事業 自立援助ホーム(オラシオ寮)
- *横浜市地域ユースプラザ事業(よこはま南部ユースプラザ)
- *横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点(カナカツ)
- *横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 磯子区青少年の地域活動拠点(イソカツ)
- *金沢区寄り添い型生活・学習支援事業(横浜いろは塾)
- *横浜市補助事業 親と子のつどいの広場(子育てスポットくすくす)
- *磯子区社会福祉協議会 いそごふれあい助成金